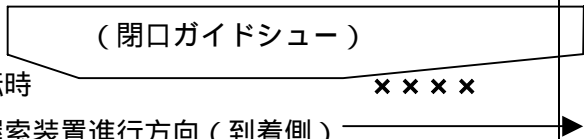


平成19年度 トラブル状況

御岳ロープウェイ

| 月 日 | 天候 | 場所 | 現 象 | 処 置 | 備 考 |
|-----------|----|----|--|--------------------------|--|
| 19. 4. 5 | 晴 | 終点 | 監視盤 扉異常リセットボタンスイッチ押した後戻らない場合あり | | |
| 4. 15 | 晴 | 終点 | 到着装置 閉口ガイドシューに接触痕あり（紙テープが1枚剥れていた） | テープ貼り替え | |
| 19. 5. 14 | 晴 | 線路 | 22号柱に取付てあるスピーカーが脱落しているのが発見される | | 取付金具納入しだい取付けます 7. 19 取付 |
| 5. 19 | 曇 | 起点 | 運転盤 脱索検出メーター指針動かず （保安装置は働く） | 絶縁不良箇所調査中 | |
| 5. 26 | 晴 | 終点 | 出発装置 閉口ガイドシューに接触痕あり（紙テープが3枚剥れていた） | テープ貼り替え | |
| 19. 7. 5 | 晴 | 終点 | 保安通信設備（電話機） 電池放電、通話できず | 交換 | |
| 7. 6 | 曇 | 起点 | 営業準備・搬器出庫中 場内押送装置が作動しなくなる 最小間隔規正押送装置の最小間隔規正スイッチA（LS - 231）が動作不良を起こし、この位置に搬器が無くても、スイッチは搬器が有るといふ状態になり停止した | スイッチ可動部点検 若干動きが渋いため交換 | スイッチの動作を確認しながら営業開始を待っていたお客様を終点へ送り届けた後、スイッチ交換 |

| 月 日 | 天候 | 場所 | 現 象 | 処 置 | 備 考 |
|---------|----|----|--|--|--------------------------------------|
| 19.7.17 | 曇 | 起点 | 到着装置 閉口ガイドシューの紙テープ剥れあり  | 紙テープ貼り替え | 前日夕方の整備にて逆転で出庫あり (7/24 終点でも同様の件有り) |
| 19.7.25 | 曇 | 終点 | 線路監視装置 電源入らず | 配電盤内ブレーカー電源ON | |
| 27 | 晴 | 起点 | 制動機油圧ユニット 始業時、試運転開始寸動 運転中常用停止操作後リセットができなくなる 油圧ユニット内のモーターとポンプを繋いで いるカップリングが外れていた | カップリングを本来の位置へ設置 固定ネジ締め付け 今後は一ヶ月点検時に緩みについても点検 実施 | カップリングの固定ネジがモーター等の振動により緩み外れたと思われる |
| 19.8.6 | 晴 | 起点 | 到着装置 アイドラプリー 10 付近より異音あり | 3m/s 異音あり 4m/s 異音あり(搬器出庫) 3m/s 異音無し(営業開始前) 全アイトラプリー軸温度測定 異常なし | 様子をみます |
| 8.7 | 晴 | 終点 | 最小間隔規正押送装置 ギヤ - ドモーターから 異音あり ギヤ部で一定周期に内部から突く感触あり プリー側で微かな蛇行を確認 | ギヤ - ドモーター交換(中古品) | 平成 16 年 5 月に交換 交換後 8 2 3 0.3 時間使用 |
| 8.11 | 快晴 | 起点 | 16:55 運転盤故障表示モニター サイリスタユニットを表示し停止 | 電源再投入し運転再開 | 遠雷の影響 |

| 月 日 | 天候 | 場所 | 現 象 | 処 置 | 備 考 |
|------------|----|----|---|---|---|
| 19. 8. 12 | 晴 | 起点 | 最小間隔規正押送装置 営業開始直後作動しなくなる 最小間隔規正スイッチC (L S - 233) が動作不良を起こし、この位置に搬器が無くても、スイッチは搬器が有るという状態になり停止した | スイッチヘッド部点検 動きが渋いためヘッド部交換 | 7 : 12 ~ 乗車規制、交換作業 7 : 30 営業再開 営業終了後スイッチ本体部交換 |
| 19. 8. 18 | 晴 | 線路 | 索受装置 21号B支柱より異音あり | 停止させ点検 (9 : 25) 下り線索綫NO, 6にフランジのガタ発見 交換 | 10 : 00 ~ 乗車規制、交換作業 10 : 35 営業再開 |
| 19. 9. 20 | 曇 | 終点 | 到着装置 始業点検中押送タイヤNO, 8の空気が抜けていた | ムシを入れ直し空気を入れ様子を見る 不良、営業終了後交換 | |
| 9. 23 | 曇 | 終点 | 出発間隔規正装置 いつもとは違う音をたて搬器が出発、異常音に気がついた係員が搬器の間隔を確認すると出発間隔が狭くなっていた | 点検、確認 異常出発確認できず ストッパー解除検出リミットスイッチ交換 出発間隔規正スイッチA1mm調整 (9/27) | 詳細 別紙 1 9/27 14 : 50 頃同じ現象あり |
| 9. 26 | 晴 | 終点 | 出発装置 閉口ガイドシューに接触痕あり (紙テープが2枚剥れる) | テープ貼り替え | 運転速度 4m / s あり |
| | | 起点 | 場内押送装置 押送爪用 (ラチェット) コイル スプリング折損 | 交換 | |
| 19. 10. 12 | 晴 | 線路 | 受索装置 1号柱B下り線より異音 索綫NO, 6から発生 (フランジのガタ) | 営業終了後交換 | |
| 10. 16 | 曇 | 終点 | 13 : 35 頃 接近リミットスイッチ (P 3 6) スプリングロッド部折損 | 営業終了後スプリングロッド部のみ交換 | |

| 月 日 | 天候 | 場所 | 現 象 | 処 置 | 備 考 |
|----------|----|----|--|--|-----------|
| 19.10.26 | 雨 | 線路 | 線路監視装置 13:57 頃雷の接近とともに10号柱横のカメラ画像送らず | 修理依頼 | 雷の影響と思われる |
| | | 起点 | 線路監視装置 13:57 頃雷の接近とともに10号柱横用モニター映像切れる | | |
| 19.11.19 | 晴 | 終点 | 構内走行レール内雪の吹き込みあり | 除雪 | |
| 11.20 | 晴 | 終点 | 折返し滑車付近より一定周期で異音あり 加減速押送駆動取出しチェーン押さえナイロンより発生 | 押さえナイロン調整 | |
| 11.21 | 晴 | 起点 | 受配電設備 始業点検にてキュービクルの点検に向かうとフリッカー制御装置より警報音が鳴っていた、中を見るとサイリスタ制御異常が働いていた。このときVCSは動作せず | メーカー問合せ 予備部品見積もり依頼 | |
| | | 終点 | 17号柱用風速指示計 H2 (18m/s) 作動せずを 発見 | H1 (15m/s) を 18m/s に設定 風監視動作確認 | |
| 19.12.12 | 晴 | 終点 | 始業点検・営業準備中 出発側閉口ガイドシューの紙テープが剥がれる(クランプピース接触の疑いあり) 該当する搬器は山頂駅始発の12台だが何番搬器なのか特定できず | 閉口ガイドシューの紙テープを貼り直し クランプピースの動作確認実施、紙テープの剥がれの無い事を確認 | 運転速度は4m/s |
| 12.13 | 雨 | 起点 | 保安スイッチの鍵が曲がっているのを発見 | 予備鍵に交換 | |

| 月 日 | 天候 | 場所 | 現 象 | 処 置 | 備 考 |
|----------|----|---------|--|--|--|
| 19.12.14 | 雪 | 線路 | 始業点検時 17号柱風速発信機回転せず | 氷除去 | 前日雨が降り夕方より冷える |
| | | 起終 点 | 始業点検・営業準備中 出発側閉口ガイドシューの紙テープが剥がれる(クランプピース接触の疑いあり) 該当搬器 山頂駅始発の12台だが何番搬器なのか特定できず 山麓駅始発の搬器は41・43番との報告を受け終点到着時クランプピースの確認を行う、左側に紙テープが付着していた | 閉口ガイドシューの紙テープを貼り直し 当日使用搬器全数クランプピースの動作確認実施、紙テープの剥がれの無い事を確認 | 運転速度は4m/s 15日も同様の件あり同じ処置をとる 搬器番号は 16・34・41・50・55・57 83左側に紙テープの付着あり 16日も同様の件が起点で発生、同じ処置をとる 搬器番号は12番 |
| 12.17 | 雪 | 終点 | 到着側閉口ガイドシュー紙テープ剥がれあり (前日営業終了後発見) | 紙テープ貼り替え | |
| 12.19 | 晴 | 線路 | 始業点検・営業準備中 線路点検時21号柱A下りより一定周期にカタン、カタンと異音あり 2輪ビームと索輪の隙間に着氷あり | 氷除去 | |
| 19.12.21 | 雪 | 線路 | 始業点検・営業準備中 線路点検時13号柱B上り索輪No,1・3・4フランジ点検(メーカー点検所見により実施)22・23日も点検実施 | 23日営業終了後交換 | |
| | | 起点 | 営業準備中 到着側構内索輪No,5(アース輪)輪芯にて蛇行あり | ノーマルゴムタイヤの索輪にて応急交換 23日営業終了後 アース輪用ゴムタイヤの索輪に交換 | アース輪用ゴムタイヤ在庫無し、メーカーへ発注 |

| 月 日 | 天候 | 場所 | 現 象 | 処 置 | 備 考 |
|------------|----|----|--|---|--|
| 19. 12. 23 | 雪 | 線路 | 17号柱風速発信機着雪あり | 除雪 | |
| 12. 26 | 晴 | 起点 | 始業点検・営業準備中 出発・到着側閉口ガイドシューの紙テープが剥がれる(クランプピース接触の疑いあり) | 閉口ガイドシューの紙テープを貼り直し 当日使用搬器全台数クランプピースの動作確認実施、紙テープの剥がれの無い事を確認 | 運転速度は4m/s 1/24 同様の件あり 12/31 1/11 1/14 1/15 出発側にて同様の件あり |
| 12. 28 | 曇 | 線路 | 13号柱A上り側 脱索検出装置ホルダーのコード垂れ下がりあり | 結束 | 1/3 同様の件あり |
| 12. 30 | 雪 | 線路 | 始業点検時 17号柱風速発信機凍結し回転せず、24号柱風速風向発信機凍結し風向動かず | 氷除去 | 前日の天候は雨 |
| | | 終点 | 始業点検・営業準備中 出発・到着側閉口ガイドシューの紙テープが剥がれる(クランプピース接触の疑いあり) | 閉口ガイドシューの紙テープを貼り直し 当日使用搬器全台数クランプピースの動作確認実施、紙テープの剥がれの無い事を確認 | 運転速度は4m/s 前日の天候は雨 12/31 1/14 出発側にて同様の件あり |
| 20. 1. 3 | 晴 | 終点 | 加速押送装置アイドルプーリーNO, 14より一定周期に異音あり | 営業終了後交換 | |
| 1. 13 | 晴 | 終点 | 保安装置 不完全握索検出装置、バネ異常検出装置凍結により動かず | 氷除去 | 前日の天候は雨 |
| 1. 28 | 晴 | 起点 | 始業点検・営業準備中 出発側閉口ガイドシューの紙テープが剥がれる(クランプピース接触の疑いあり) 搬器NO, 33に紙テープの付着あり | 閉口ガイドシューの紙テープを貼り直し 搬器NO, 33クランプピースの動作確認実施、紙テープの剥がれの無い事を確認 | 運転速度は4m/s |

| 月 日 | 天候 | 場所 | 現 象 | 処 置 | 備 考 |
|-----------|----|---------|---|---|--|
| 20. 1. 30 | 曇 | 起点 | 10:30 保安装置『シュッパツカンカク(1)』を表示し非常停止する | 握索装置 トラクションプレートの氷除去 | 空車時は異常無し |
| | | 起終 点 | 始業点検・営業準備中 出発側閉口ガイドシューの紙テープが剥がれる(クランプピース接触の疑いあり) | 閉口ガイドシューの紙テープを貼り直し 当日使用搬器全台数クランプピースの動作確認実施、紙テープの剥がれの無い事を確認 | 運転速度は4m/s 2/12 終点にて同様の件あり |
| 2. 1 | 晴 | 起点 | 運転室 制御盤サイリスタ 1 スペースヒーター作動しない | ヒーター交換 | |
| 2. 6 | 晴 | 線路 | 始業点検・試運転にて線路確認中7号柱下り線から普段とは違う大きな音が発生していた、状況確認の結果7号A柱で支えい索が内側へ芯ズレしていた | 芯ズレ調整 索輪NO, 1~8 交換 | 10:25~乗車規制 10:41~整備開始 13:08~営業運転再開 |
| 20. 3. 4 | 晴 | 線路 | 2・11号柱下り線より異音あり | 点検 異常無し | 点検の為営業開始遅れる |
| 3. 5 | 晴 | 終点 | 始業点検・営業準備中 出発側閉口ガイドシューの紙テープが剥がれる(クランプピース接触の疑いあり) | 閉口ガイドシューの紙テープを貼り直し 当日使用搬器全台数クランプピースの動作確認実施、紙テープの剥がれの無い事を確認 | 運転速度は4m/s 3/12・15 同様の件あり |
| 3. 23 | 晴 | 終点 | 13:34 保安装置 トウチャクカンシクカン2を表示し停止 (13:33 スキー板が抜けず非常停止があり、運転再開時減速押送装置内で停止していた搬器に通過時間にズレが生じた為) | リセット 運転再開 | |
| | | | | | |